

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と表現Ⅲ		（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）		柳田 真理子	保育士
				伊藤 彩	幼稚園教諭
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期		必修・選択	
15 回	30 時間（1 単位）	2 年・後期		必修	
[授業の目的・ねらい] ・ 領域「表現」における造形表現活動の構造と教育的意義を明らかにするとともに、子どもの成長発達と造形活動の基礎的知識、技術の習得を目指す。 [授業全体の内容の概要] ・ 子どもの造形表現活動の援助・指導について学ぶ。幼児の造形表現活動の特徴について理解し、幼児の活動を援助する為に必要な基礎技術を身につける。また学生自身が造形表現遊びの計画・実践・評価ができるような参加型の授業として進める。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 演習を通して、学生（自分）自身が造形表現遊びの楽しさを味わい、子どもの目線に立った保育の展開を考えることができる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1 表現教育の意義と造形表現 造形表現の基礎知識（乳幼児期における一般的発達特性） 2 ～ 7 年齢別で作る ①季節の壁面製作 ・デカルコマニー ・フロッタージュ ・スクラッチ ・ステンシル ・シャボン玉アート等、様々な技法を使って ②季節の折り紙製作 ③行事に使う製作 8 ～ 12 様々な道具・素材を使って 1 3 廃材を使って 段ボール迷路やお家、乗り物等 1 4 卒園製作 計画・準備 1 5 期末試験（卒園製作 評価）					
[使用テキスト・参考文献] ・ 『保育・幼児教育シリーズ表現の指導法』（玉川大学出版部） ・ 他、必要に応じ、プリント配布					
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75％) ・ 到達目標の修得状況を測るために、実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25％) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					